

錠剤分包紙変更に伴う

患者・看護師への満足度調査

山口県

地域医療支援病院 オープンシステム 徳山医師会病院 薬局

伊ヶ崎 芳美、澁江 なつ美、有馬 治男、吉永 哲史、
佐貫 記子、西村 正広

【緒言】

当院では、吸湿性などの問題が無い薬剤において、特に患者からの依頼が無い限りは2種類以上の錠剤・カプセル剤の一包化調剤を行ってきた。

このたび、錠剤分包機の更新に伴い、錠剤分包紙も新しいものに変更する事になったため、これを機会に患者および看護師の錠剤分包紙に対する満足度調査を行うこととした。

【方法】

調査対象：分包してある薬を内服しており、
薬剤情報管理指導業務を行っている患者

調査内容：) 分包紙の良し悪し、及びその理由
) 分包紙への用法押印
 (「朝」「昼」「夕」)について
) 分包紙へ追加記載して欲しい内容
 (複数回答可)

調査期間：2004年12月及び2005年4～5月
 (調査人数：102人)

【方法】

調査対象：各病棟勤務の**看護師・准看護師**

調査内容：方法と同じ) ~)

-) 分包紙変更による投薬ミスの増減
-) 分包紙変更で良くなった点
-) その他分包紙に対する意見

調査期間：2004年12月 (~)

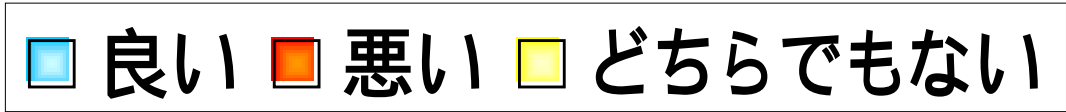
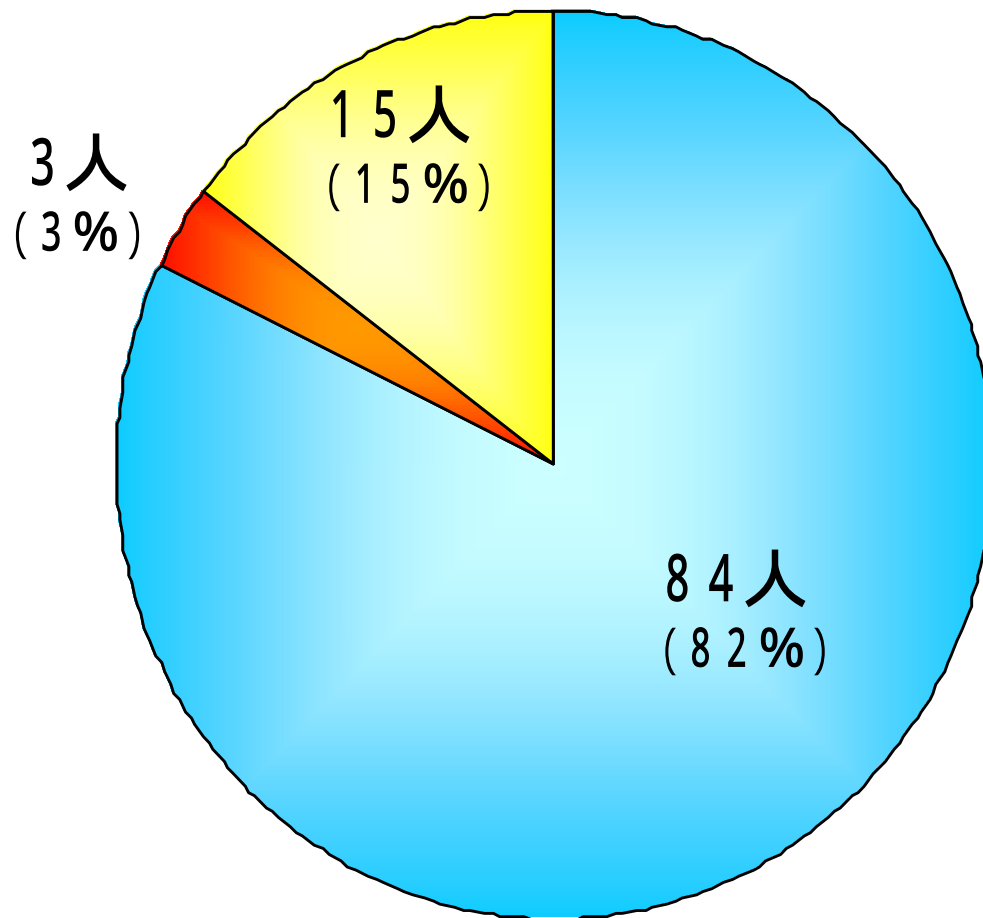
< 対象人数:108人中105人が回答/
回収率97.2% >、

及び2005年4月 (~)

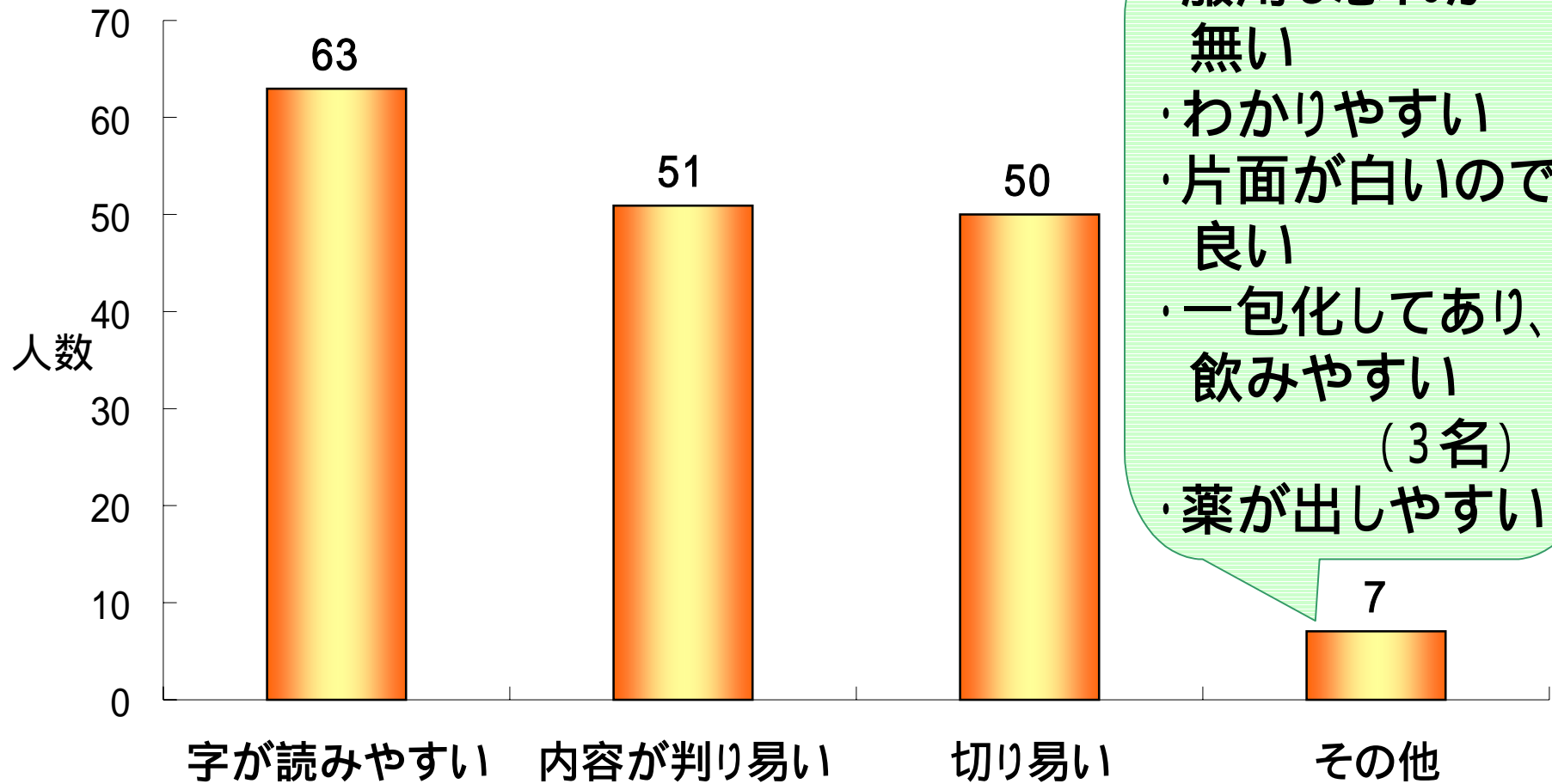
< 対象人数:114人中99人が回答/
回収率86.8% >

【結果】

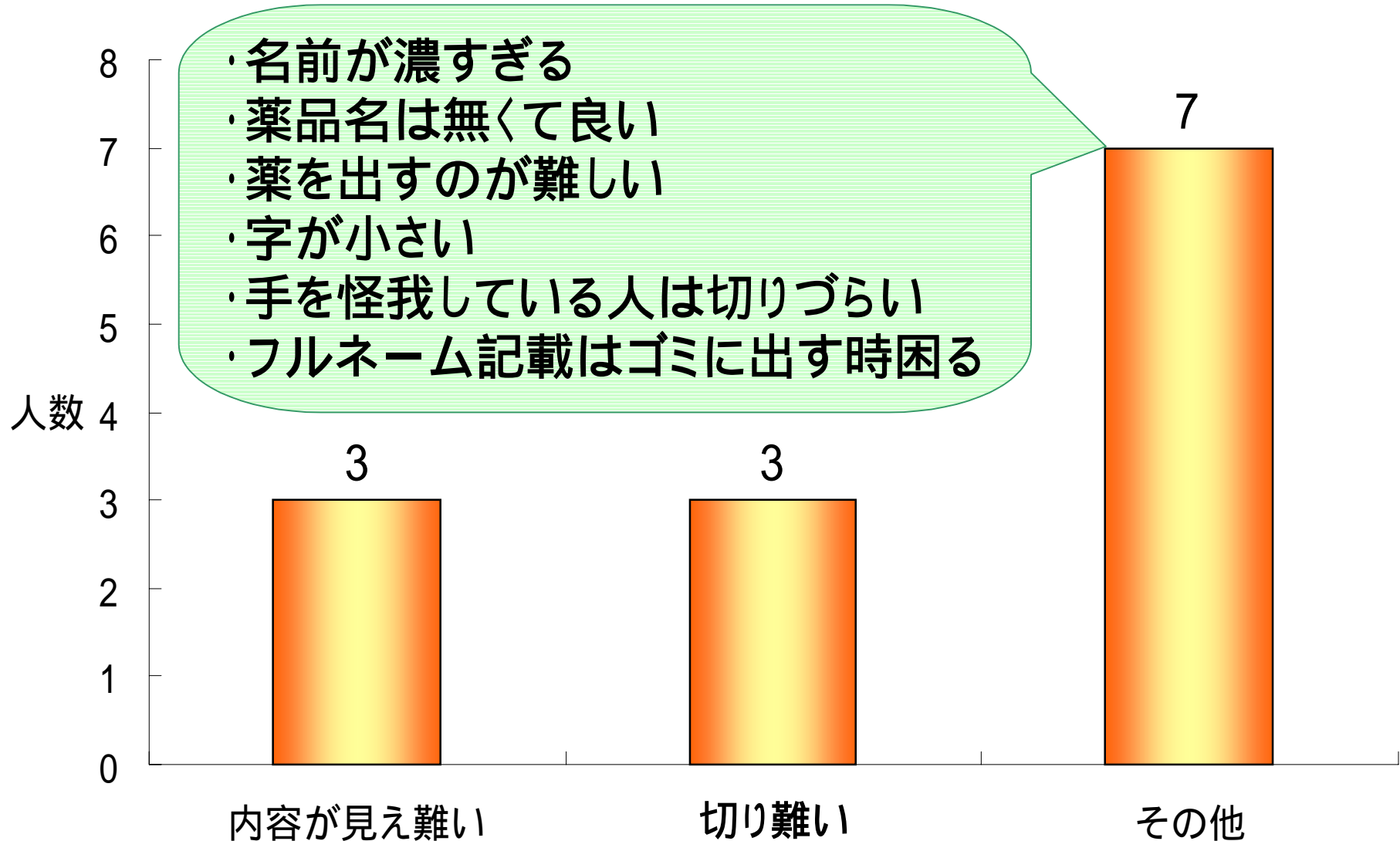
分包紙の良し悪し



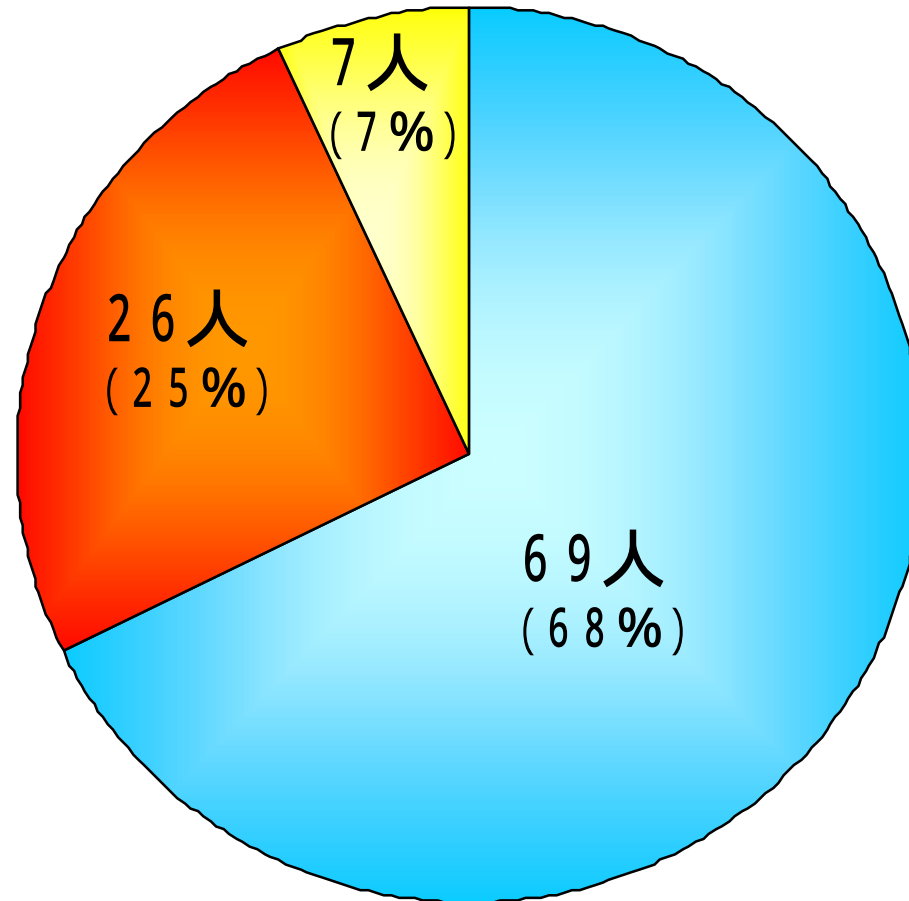
「良い」理由



「悪い」理由

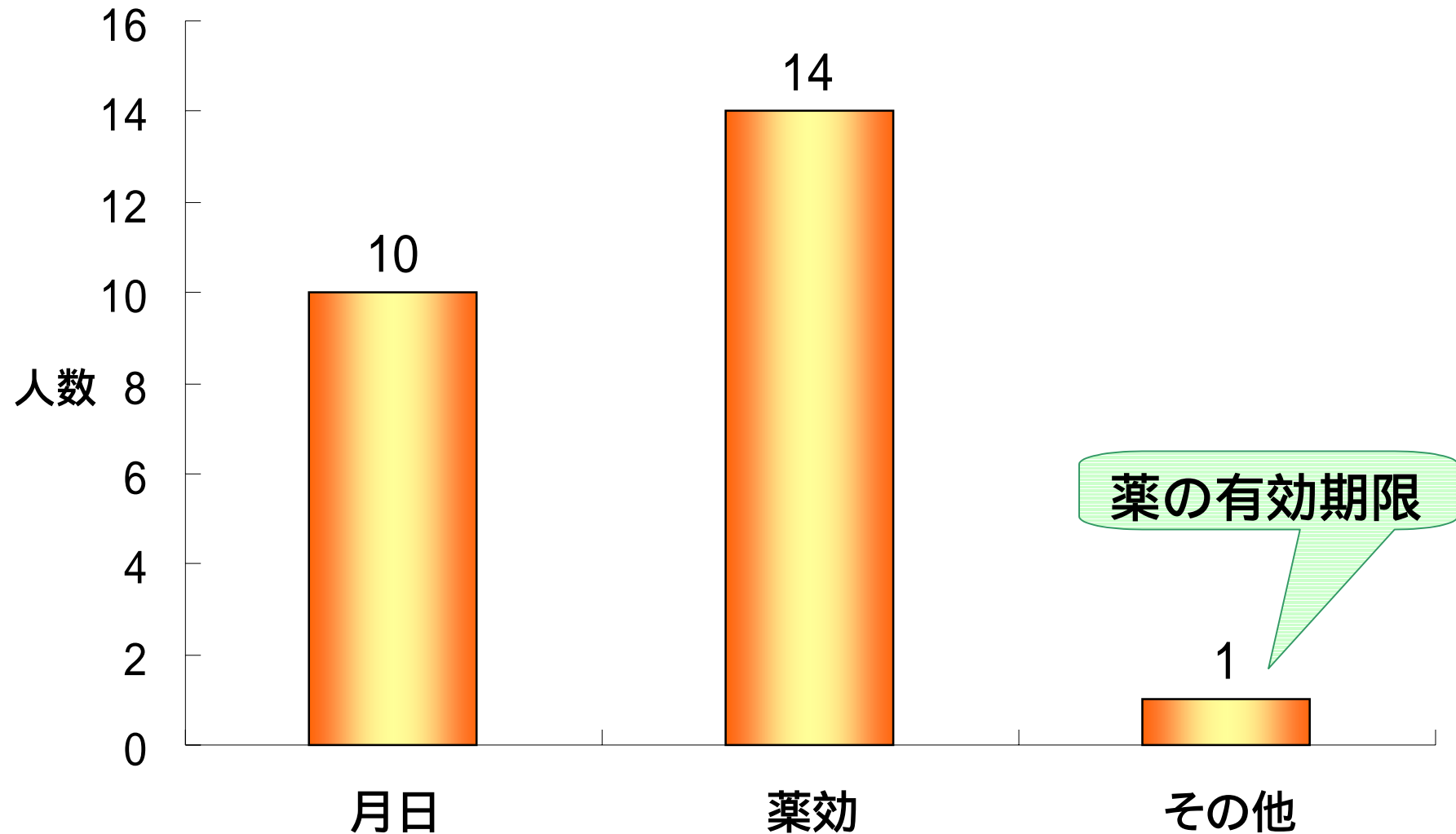


押印の必要性



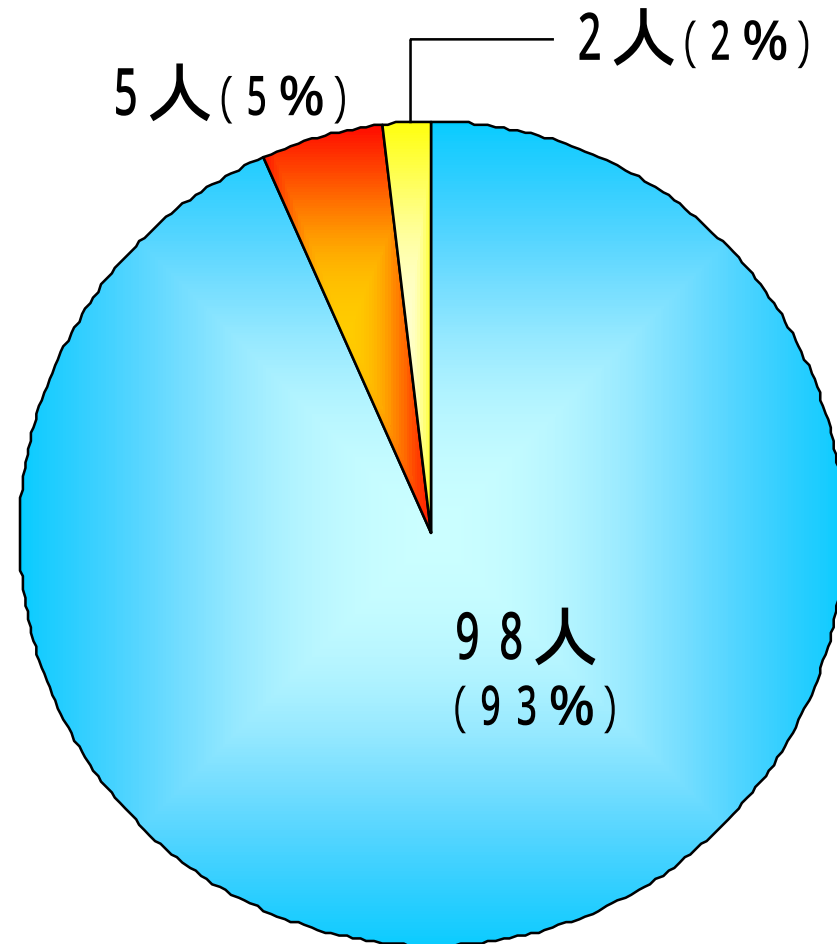
■ 必要 ■ 不必要 ■ 無回答

追加記載して欲しい項目



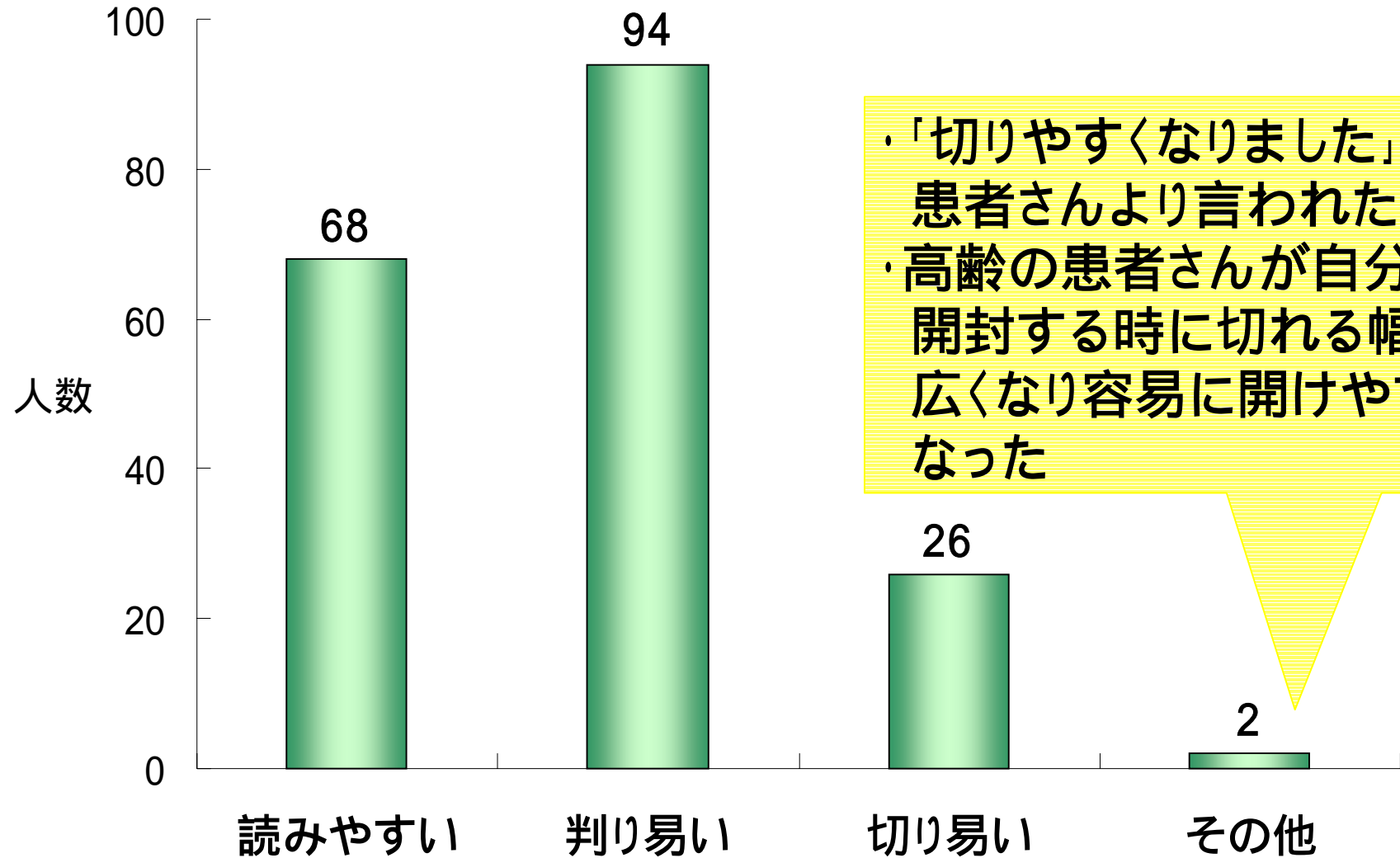
【結果】

分包紙の良し悪し

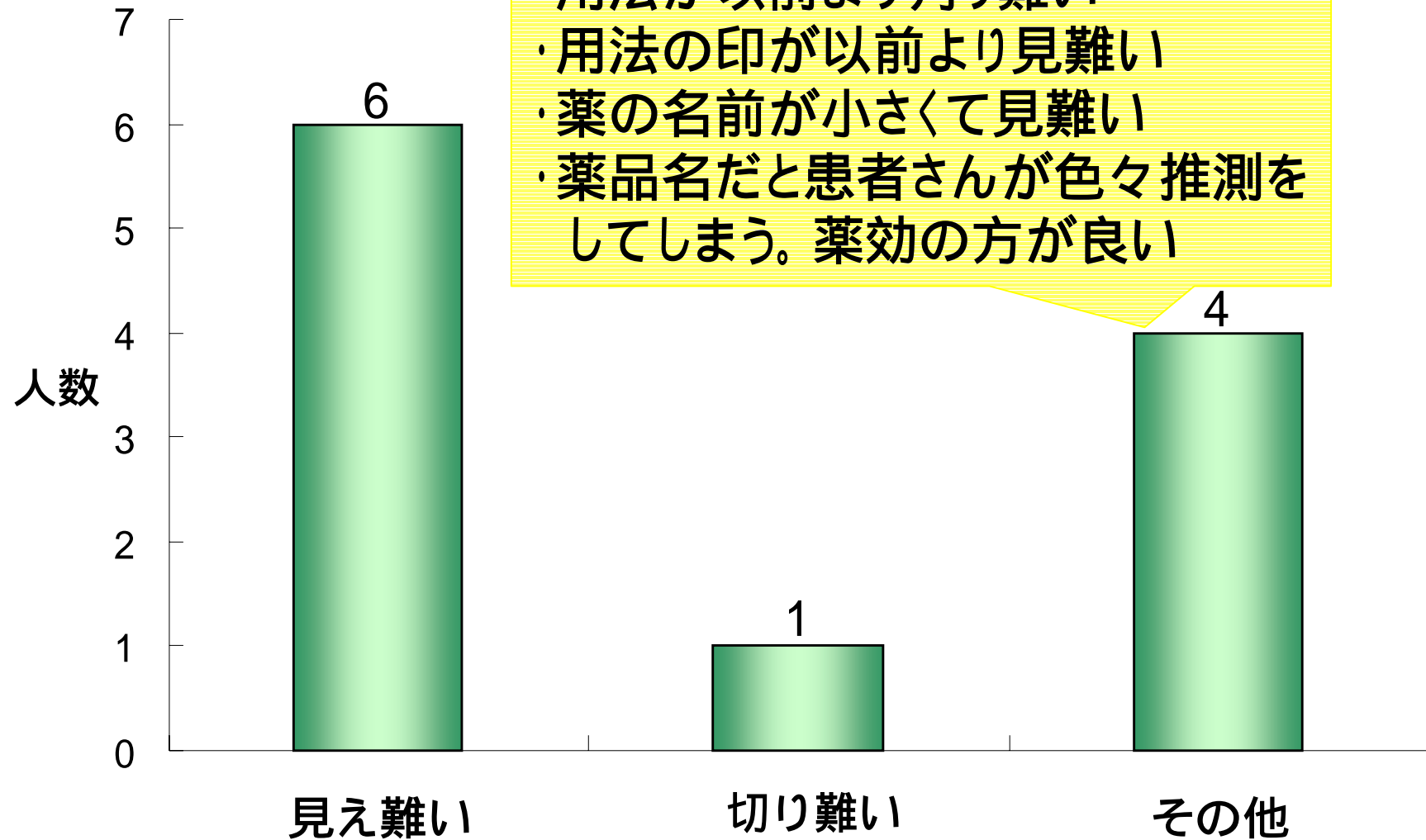


■ 良い ■ 悪い ■ どちらでもない

「良い」理由

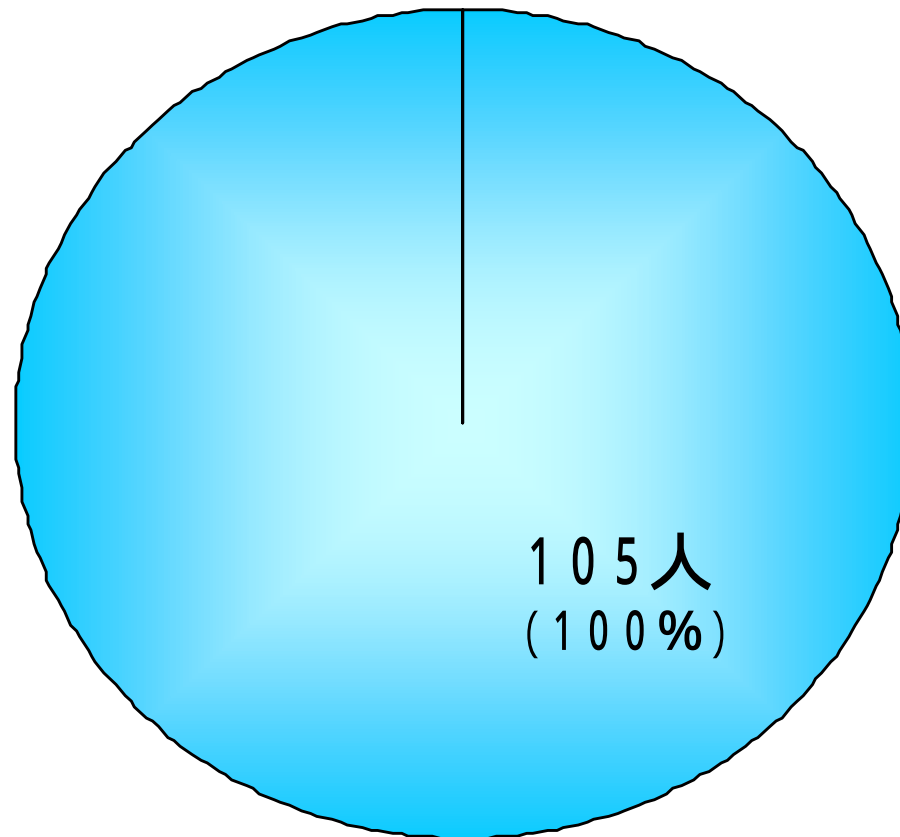


「悪い」理由



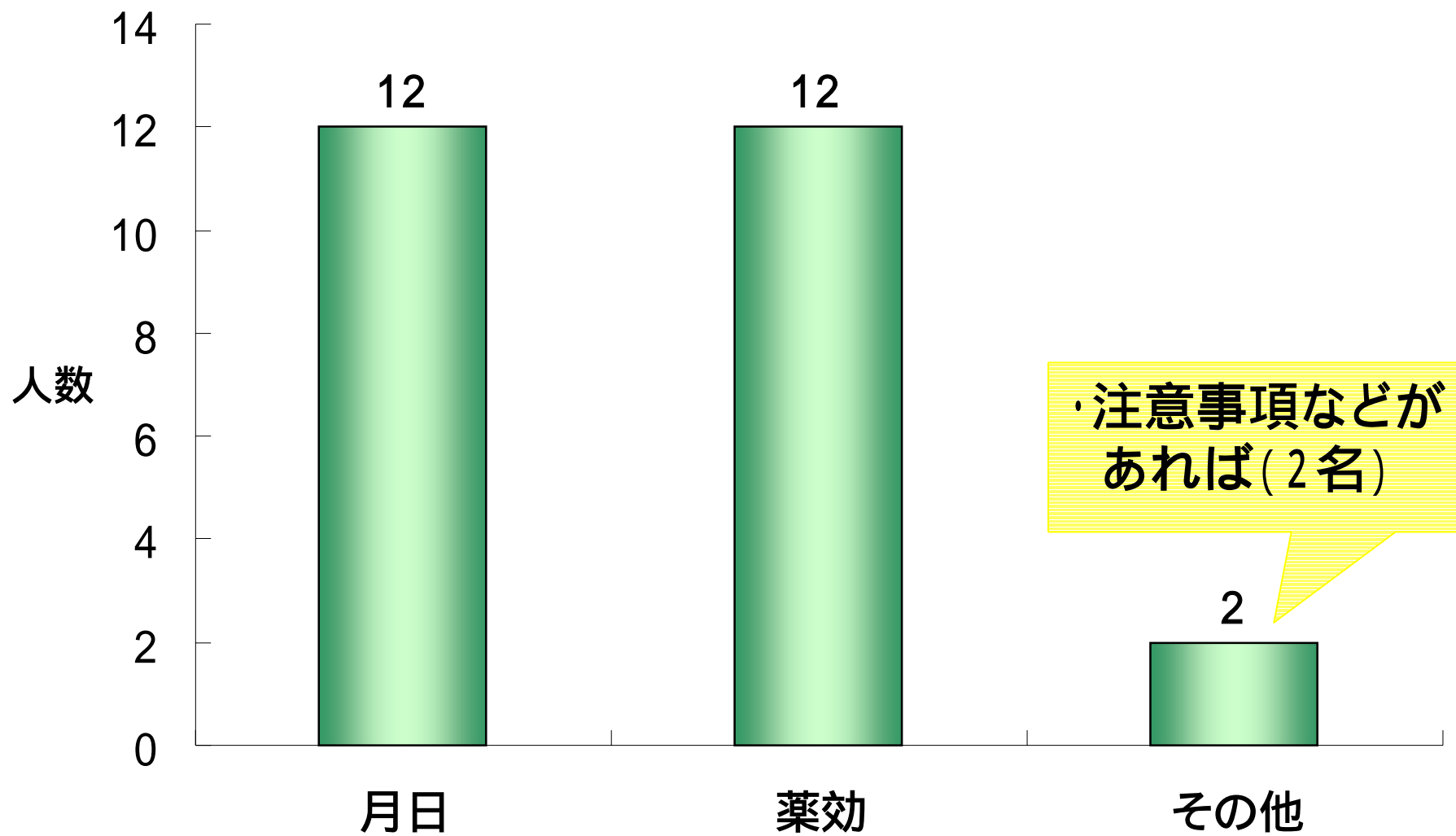
- ・用法が以前より判り難い
- ・用法の印が以前より見難い
- ・薬の名前が小さくて見難い
- ・薬品名だと患者さんが色々推測をしてしまう。薬効の方が良い

押印の必要性

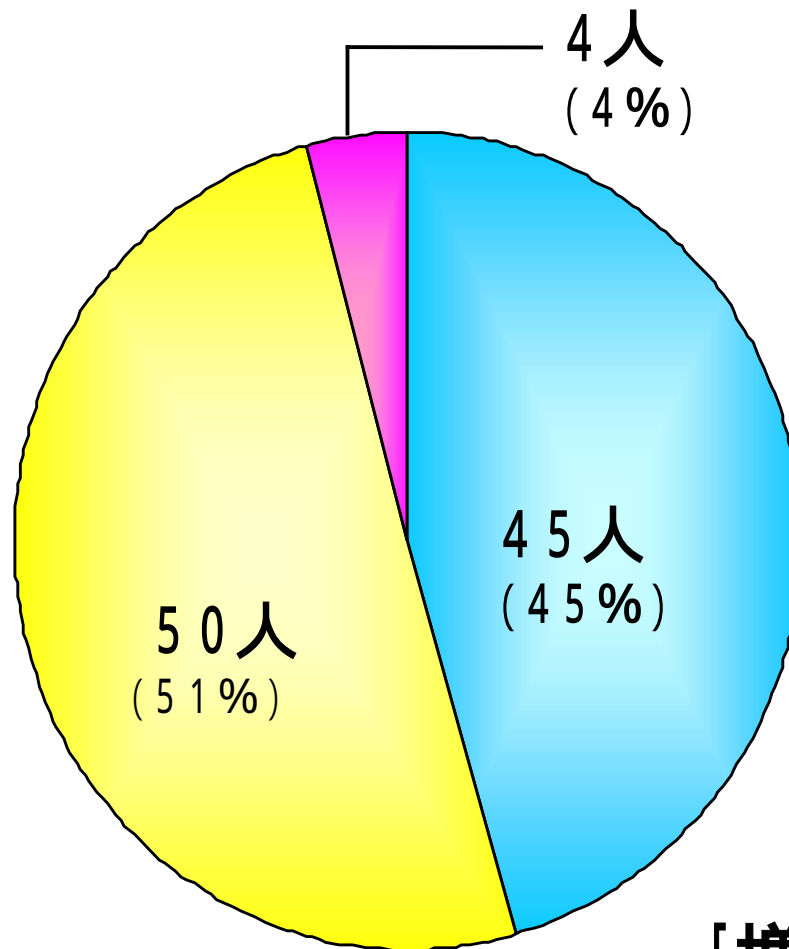


■ 必要

追加記載して欲しい項目



分包紙変更に伴う投薬ミスの増減



「増えた」は0人

■ 減った ■ 増えた ■ 不変 ■ 無回答

分包紙変更で良くなった点は？

- ・患者さんから質問された時に答えやすい
- ・内容の再チェックがしやすい
- ・何を飲んでいるのか判って良い
- ・指示変更などあった場合に判りやすい
- ・患者さん自身が自分の服用している薬を理解しやすくなった

・・・など

その他、分包紙に対する意見

- ・散剤分包紙にも名前記載をして欲しい
(現在用法の異なる薬剤を1包化した時のみ「朝」「昼」「夕」の押印)
- ・錠剤のすべりが悪く、薬を出すのが難しい
- ・切り口が切り難い

・・・など

【まとめ・考察】

以上の結果より、分包紙は概ね現行のものでよいと思われる。しかし、患者は高齢者が多く、薬品名の印字が小さい・片面が白いので中の薬が見難く確認しづらいという意見もあった。看護師の中には、病名告知やプライバシーの面から、薬品名記載に抵抗を感じている人もいた。用法の押印については、全ての看護師があるほうが良いという意見であった。

現在、散剤分包紙については機械・システムの都合上、何の記載もされていない。しかし、特に看護師から散剤分包紙への患者名等記載希望が高まっており、今年度中には錠剤分包紙と同等の記載が出来る機械・システムを導入する予定である。